

令和7年第2回富士吉田市教育委員会定例会 会議録

日 時	令和7年2月21日（金） 午前9時00分
場 所	富士吉田市役所 東庁舎2階 206会議室
出席委員	教 育 長 渡邊治男 職務代理者 清水慶子 教 育 委 員 渡邊学、遠山賢子、羽田誠
出席事務職員	加々美教育部長、宮下教育次長、柏木学校教育課長、西野給食センター課長、山口生涯学習課長、高橋図書館課長、布施歴史文化課長、井上教育研修所長、渡邊課長補佐、羽田主査、武藤主事

1. 教育長挨拶

皆さんおはようございます

本日はお忙しいなか、定例会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

もう2月も半ばを過ぎ、学校現場では感染症による学級閉鎖などもなく、年間計画通り今年度のまとめをしているところです。3月になりますと中学校では高校入試、小中ともに卒業式、修了式と続きます。

一方、委員会では教職員の人事異動作業、3月議会対応、教育委員会職員の人事異動と続いていきます。

教職員の人事異動につきましては、2月6日（木）に県の人事担当者との意見聴取がありました。校長採用、教頭・主幹昇任、定数以外の加配教員の数などの要望を、しっかりと伝えてまいりました。しかしながらどの学校でも配属を希望している40歳代の中堅教員が足りなく、また、全体の教員の数も足りないという状況です。本来ならば、本務者で埋められない教職員は、期間採用者・任期付き採用者を当てるわけですが、それまでもが足りないという状況です。したがって、教員不足から知事の公約である令和7年度小学校5年生での25人学級の実現が大変難しい状況です。

また、県は不登校対策の一環として、就学援助対象世帯について、フリースクール利用補助を実施する件に関しましても、補助の半額は市として支出しなければならないのですが、急に決められたことで、来年度の市予算には盛り込まれておりません。県だけが先行してしまい市町村自治体が置き去りにされている状況です。この補助につきましてもいろいろと課題があります。

2月13日（木）には、「山梨県学校教育指導指針」が出されました。内容につきましては後ほどゆっくり資料をご覧ください。どれも大変大切なことが載っております。説明を受けた瞬間は、あれもこれもやらなくてはいけないと、ゆとりが全くないように感じました。学校では、1日6時間の授業だけですべて消化できるか、心配になるところです。教育委員

会としては学校が効率的に活動できるよう支援していきたいと思います。

また教育委員会では、学校教育課だけではなくそのほかの課においてもたくさんの課題を抱えております。それらの課題が少しでもより良き方向に向かいますよう教育委員さん方のご理解とご協力をお願い申し上げ、また、教育委員会の職員の皆様の力を合わせることで、富士吉田市の教育行政をさらに良い状態に推進していきたいと思います。本日も委員の皆様には前向きなご意見をよろしくお願い申し上げまして挨拶といたします。

2. 教育長開会宣言

3. 日程第1 前回会議録の承認

令和7年第1回定例会会議録が承認される。

4. 日程第2 会議録署名委員の指名

会議録署名委員の氏名は、清水 慶子委員、羽田 誠委員を指名する。

5. 日程第3 一般業務報告

- (1) 教育長の令和7年2月業務報告を学校教育課長より報告する。
- (2) 令和7年3月業務予定を各担当課長より報告する。

〔質疑〕

羽田 誠委員

生涯学習課 15日 トップアスリート直伝教室について 対象は決まっているのか。

生涯学習課長

小学生のミニバスをやっている子達が対象。社会人の女子バスケットボールチーム山梨クインビーズの選手の方々を講師に招いて行う。主に実技を一緒にやってもらい、最後は選手の方とミニゲームを行う。

【了 知】

6. その他

(1) 「市立小中学校適正規模・適正配置について」

学校教育課長

それでは、富士吉田市立小中学校適正規模・適正配置検討委員会につきまして、ご説明いたします。

第1回目の開催につきましては、明日24日に開催することとなっております、明日の委員会につきましては、委員の委嘱から始まり、委員会設置の目的や背景、今後のスケジュール、さらには学校を取り巻く現状と課題について、事務局から説明をさせていただくことを考えております。

委員構成につきましては、先月の定例会におきまして、この検討委員会の設置要綱についてご報告させていただいたところであり、この要綱に基づき、検討委員につきましてお手元の資料の委員名簿のと通りの構成で組織することでスタートしたいと考えております。

この中で清水委員には教育委員会の代表としてご参加いただきたく、よろしく願いいたします。

また、委員会の委員長には、都留文科大学の廣田健教授にお願いすることを考えております。廣田教授は学校教育の中で特に学校再編に関する研究を手掛けており、都留市の学校統廃合においても委員会の委員長を務めたことのある方です。副委員長には、校長会の会長であります三浦雅彦校長にお願いをしたいと考えております。

次に、検討委員会のスケジュールであります。すでに学校を取り巻く現状把握や課題の抽出、そしてアンケート実施といった検討委員会に必要な資料の収集は終わっております。検討委員会では、児童生徒数の減少や学校施設の老朽化を踏まえたこれからの学校像（どのような教育を目指すのか）を論点にして、議論を行っていただきます。そして、適正規模適正配置基本方針を作り上げていくこととなります。この検討委員会では望ましい学校規模（例えば本市において適切な1学年のクラス数、1クラスの人数）であったり、許容する通学距離や通学時間の検討も進めていただくこととなります。

この検討委員会のスケジュールにつきましては、令和6年12月から令和7年9月までのスケジュールになっています。検討委員会の回数は6回程度を予定しており、最終的には来年9月を目途に適正規模適正配置の基本方針の策定を終えたいと考えております。

この検討委員会では、市立小中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針の策定に向けた審議を行い、その中では具体的にどの学校をどうするのかといったところまで踏み込むことは行いません。それらについては基本方針策定後に、市内小中学校の統廃合を含めた学校再編計画の策定の中で検討していくこととなりますので、ご承知いただき

たいと思います。
以上でございます。

[質疑]

遠山 賢子委員

小中一貫も視野に入れての話し合いになるのか。

学校教育課長

最終的な学校再編については、次のステージでの検討になる。今回の検討委員会での基本方針の策定にあたっては、将来的な事も含めた中でこれからの学校像というものを考えていくため、学校がこれからどのような形で運営、経営、形態をしていくのかという部分も含めた議論も必要となる。そのため、小中一貫、義務教育学校、これまで通りの形態で行くのか、新たな形態を作っていくのか、そういったところも検討委員会の中で議論をしていただくことを考えている。

【了 知】

(2) 「令和7年度二十歳を祝う会について」

生涯学習課長

令和7年富士吉田市二十歳を祝う会について報告させていただきます。
次代の本市を担う二十歳の皆さんの前途を祝福するため、二十歳を祝う会を開催いたします。日時につきましては、令和7年1月12日（日）午後2時よりふじさんホールにて式典を行います。今回は平成16年4月2日から平成17年4月1日に生まれた方が対象となります。ご多忙のところとは存じますが、ご臨席賜りたいと存じます。よろしく願いいたします。

【了 知】

7. 教育長閉会宣言